

## 1 内政

### ミクロネシア独立32周年行事が開催される

3日、ポンペイ州コロニア市の中国FSM友好体育館にてミクロネシア連邦独立32周年行事が開催され、ヨシヲ・ジョージ副大統領がスピーチを行った他、政府関係者、外交団、来賓多数が出席した。

（11月8日付 カセリエプレス紙）

### コスラエ州及びヤップ州にて知事／副知事及び州議会議員選挙が実施

6日、コスラエ州及びヤップ州にて知事・副知事及びそれぞれの州議会議員選挙が実施された。選挙結果は後日発表される。

（11月8日付 カセリエプレス紙）

### 連邦議会特別会期の開催

13日から5日間、連邦議会特別会期が開催され、日本政府からの1.8百万ドルのノン・プロ無償、UNEPからの8万5千ドルの環境関連プログラム、米厚生省からの25万ドルの無償支援他が承認された。

（11月23日付 カセリエプレス紙）

### ポンペイ州最高裁、ウー地区における違法な海底採掘を警告

23日、ウー地区における違法な海底採掘に携わったポンペイ州運輸局所属の3名が逮捕された。またその他にも13の違法な採掘とみられるケースが報告されており、ポンペイ州最高裁は警告を発した。

（11月23日付 カセリエプレス紙）

## 2 外交

### ミクロネシア、透明性の高いマグロ漁の実施を約束

10月30日、バリで開催された第5回 Our Ocean 会議に出席したクリスチャン大統領は、ミクロネシアはTNC（The Nature Conservancy）等の国際的な環境保護団体の支援を得て、機械的なモニタリングシステムの導入やEEZ内で操業する全ての商業マグロ漁船に監視員を乗せる等をして、その資源保護の重要性が指摘されているマグロ漁の透明性を100%に高めると発表した。

（11月12日付 カセリエプレス紙）

### 東京で日本ミクロネシア国交30周年のレセプションが開催される

2日、訪日したクリスチャン大統領は、在京ミクロネシア大使館主催で東京都内のホテルで行われた日ミクロネシア国交30周年及びミクロネシア独立32周年を祝うレセプションに出席した。レセプションには森元首相や古屋議員連盟会長、尾崎高知県知事、安倍総理夫人の他、シミナ連邦議会議長、ロバート外相、ヘンリー資源開発大臣、フリッツ在京大使等約800名が出席した。また、クリスチャン大統領は訪日中、安倍総理と首脳会談を行い、二国間関係や地域の安全や協力について話しあった。

(11月26日付 大統領府HP)

### クリスチャン大統領、習中国主席と会談

(以下、中国メディアからの転載)

APEC首脳会議に出席のためパプアニューギニアを訪問したクリスチャン大統領は習中国国家主席と会談した。習主席はミクロネシアのひとつの中国政策支持を評価すると共に誠実、現実的結果、親善、信義の原則で今後とも協力関係を強化していきたいと述べた。また習主席は最近両国で合意した一带一路政策の促進のための覚書に基づき、貿易、投資、農業、漁業、インフラ整備及び観光の分野で協力を強化していきたいと述べた。また習主席は、中国はミクロネシアの気候変動への取組を南南協力の枠組みで支援していくと述べた。これに対してクリスチャン大統領は中国とミクロネシアは高い価値観で結ばれていると述べ、国の大小を問わず平等に対応する中国の姿勢を称賛した。また、クリスチャン大統領は、一带一路政策はミクロネシアの開発にとって重要な政策であり、中国との間で貿易や観光、そして気候変動の分野での協力を強化したいと述べた。

(11月23日付 カセレリエプレス紙)

### Tomasiki 新スロバキア大使、信任状を捧呈

20日、Marian・Tomaski 新スロバキア大使は大統領府にてクリスチャン大統領に信任状を捧呈した。

(11月26日付 大統領府HP)

### Mino 新イタリア大使、信任状を捧呈

22日、Giorgio・Guglie・Mino 新イタリア大使は大統領府にてクリスチャン大統領に信任状を捧呈した。

(11月26日付 大統領府HP)

### 3 経 済

#### ミクロネシアが GAIS 2018 の場で観光と外国投資を促進

18日、北京のミクロネシア大使館が中国の武漢市で開催された GAIS (Global Angel Investment Summit) 2018 に招待され、駐中国ミクロネシア大使のカーソン D. アピスは、ガイアナ、モルディブ及びセルビアの代表と共に、キー・スピーカーとして演説を行った。

(11月20日付 大統領府HP)

#### ミクロネシア大使館が 2018 Global Smart City Summit に参加 (銀川市)

北京のミクロネシア大使館の次席 (公使) である Vincent Sivas は、13 から16日にかけて、銀川市の寧夏回族 (ねいかかいぞく) 自治区で開催された 2018 Global Smart City Summit に出席した。当該サミットのテーマは、「環境に配慮した高級で階調的な住みよい街」であった。

(11月15日付 大統領府HP)

#### クリスチャン大統領がヤップ州の海底ケーブル敷設記念式典に出席

29日、NEC と PT Telekomunikasi Indonesia からのスペシャルゲストに加えて、クリスチャン大統領がヤップ州のガギールで開催された海底ケーブル敷設記念式典に出席した。式典はヤップ州政府とミクロネシア電話公社によって主催され、正式にヤップ州の海底ケーブルの敷設の完工と利用開始を祝うものであった。

(11月29日付 カセレリエプレス紙)

### 4 経済協力

#### 中国海南省とポンペイがポンランガスにココナッツの実演農場を設置に合意

ポンペイ州が中国海南省の代表団一行を招待し、農業、観光及び漁業等に関する協議を行った。この際、マドレニウム自治区にココナッツの実演農場を共同で設置することに関する覚書に署名がなされ、中国が約20年前から運営しているパイロット・ファームに隣接して、1.33ヘクタールのココナッツの実演農場が設置されることとなった。この覚書の有効期間は5年間で、どちらかの団体が変更を申し出ない限りは、自動的に新たに5年間延長されることとなる。

(11月6日付 カセレリエプレス紙)

### 米国大使館が世界遺産であるナン・マドール遺跡再建のための支援を実施

9日、在ミクロネシア米国大使館がコロニア市内の米国大使館で、2つの大きな支援に関するイベントを開催した。これらの支援は、世界遺産であり、また、世界危機遺産にも登録されているナン・マドール遺跡の保護・保全及び文化の保存を目的としている。2つ目の支援は CSRMC (Cultural Site Research and Management Foundation) からの37万5千米ドルであり、同遺跡の危機遺産からの脱却を目指すものである。2つ目の支援は、米国大使 (U.S. Ambassador's fund) から4万米ドルであり、ミクロネシア短期大学の学生が同遺跡の保護・保全等を目的とした映画などを製作するために贈与された。

(11月9日付 カセリエプレス紙)

### 日本がポンペイの奥地に四輪駆動の救急車を供与する

7日、草の根・人間の安全保障無償資金協力による「ポンペイ州救急車整備計画」贈与契約署名式が日本大使公邸で開催され、67,823米ドルがポンペイ州公安局消防救急部に供与された。当該プロジェクトは、四輪駆動の救急車1台を整備することにより、ポンペイ州住民の保健医療サービスの向上に寄与するもの。四輪駆動の救急車がないために道路状況が劣悪な地域には救急車で入っていくことができず、救助に出動できる範囲が限られていた。それ故、本計画で供与する四輪駆動の救急車により、救助に出動できる範囲が広がり、救急車を必要とする人々に100%対応できることが期待されている。式典上の挨拶において、堀江大使は、美しい山や丘に囲まれたポンペイには四輪駆動車でしか辿り着くことが出来ない場所が多くあり、充実した緊急救助サービスのためには四輪駆動の救急車は必要不可欠であると述べた。マルセロ・ピーターソン・ポンペイ州知事は、堀江大使及び日本国民へ深い感謝の意を表し、ポンペイ州にとって全州民が緊急救助サービスを受けられる環境に置かれるということは非常に重要であると述べた。カンテロ公安局長は、日本政府の惜しみない援助に深い感謝の意を表し、新しく設立された公安局消防救急部の担う緊急救助サービスを全うするためにもこの四輪駆動の救急車は必要不可欠であると述べた。

(11月9日付 カセリエプレス紙)

### J-PRIZM II を通じてポンペイは固形廃棄物と戦い続ける

10月11日に、ポンペイ州庁舎内知事会議室にて、ポンペイ州環境保護局が JICA と共に、J-PRIZM II (大洋州地域「廃棄物管理改善支援プロジェクト」フェーズ2) における第2回目の州レベルの調整会議 (State Level Joint Coordinating Committee) (以下「JCC」という。) が開催された。今回の JCC の

目的は、固形廃棄物管理戦略策定の進捗状況を会議への参加者に共有することであった。会議では、特に、今後の固形廃棄物管理戦略の立案、優良事例の編集・活用、CDL システム (Container Deposit Legislation System) の改善について議論された。会議には、堀江良一日本国大使、リード・オリバー・ポンペイ州副知事、ジンジャー・ポーター・ミダ環境保護局評議員会会長等が出席した。  
(11月26日付 カセリエプレス紙)

## 5 文化・教育

### 豪大使館主催の第5回ホワイトリボン・ウォークが開催

25日、ポンペイ州コロニア市で当地豪大主催の第5回ホワイトリボン・ウォークが開催され、多くの市民が参加した。挨拶に立ったフレイザー豪大使は、ホワイトリボン・ウォークを通じて、特にチューク州とポンペイ州で多いとされる家庭内暴力(特に女性への暴力)反対に対する市民の意識を高め、当地から家庭内暴力をなくしていきたいと訴えた。  
(12月10日付 カセリエプレス紙)

### 日本大使公邸で天皇誕生日レセプションが開催

29日夜、日本大使公邸で天皇誕生日レセプションが盛大に開催され、ロバート外相がミクロネシア代表として出席した。挨拶に立った堀江日本大使は今回の天皇誕生日レセプションが明年春に退位する今上天皇の最後の誕生日祝賀レセプションとなること、また、11月上旬のクリスチャン大統領の訪日について言及しつつ、本年は日ミクロネシアの国交30周年の節目であり、これまで日本とミクロネシアは、民主主義、法の支配、自由主義の同じ価値観の下で、投資、貿易、経済協力、学術・人的交流、観光等の分野で友好・相互協力関係を強化してきたと述べた。また、堀江日本大使は最新号のカセリエプレス紙に日ミクロネシア国交30周年の特集記事が載っており、クリスチャン大統領及び安倍総理それぞれの祝賀メッセージが掲載されていると紹介した(往電第756号を参照)。これに対してロバート外相は30年間に及ぶ両国の友好関係を称賛しつつ、これまでの日本からミクロネシアに対するたくさんの支援に感謝すると言及した。  
(12月10日付 カセリエプレス紙)